2024年3月22日最明寺滝～きずきの森で観察した植物

作；岡田

リュウキンカ（立金花）キンポウゲ科リュウキンカ属　＊花期＝3～4月

原産地、日本、中国、朝鮮半島、水辺などの湿地帯を好む多年草、本来は野生種ですが、園芸店などで売られているので、庭などに多く植栽されている、キンポウゲ科の特徴で、黄色の花弁はエナメルを塗ったように光輝いている。**＊名前の由来**＝リュウキンカの茎はまっすぐ上に伸びる特徴がある、そのすつと伸びた茎の先に黄金色の花を咲かせるので、その花姿から「立金花」と和名がつけられた。**＊花言葉**＝必ず来る幸福、富、あなたに会える幸福、
山菜として食べる地域もあり、美味しいらしいが、食べすぎると下痢をする、キンポウゲ科の植物は基本的には毒草です。身近な毒草としては、キツネノボタン、タガラシ、ウマノアシガタ、トリカブト等

オオキバナカタバミ（大黄花片喰）カタバミ科カタバミ属＊花期＝12～5月

原産地アフリカ多年草、観賞用として輸入栽培していたのが逸出して野生化している、地面下に直径１㎝以下の球根を年間２０個以上生成します、出来た球根ははがれやすいので抜かれてもその場に残るので絶やすことが難しい、この特徴は他のカタバミ属の特徴でもある、葉や茎にはカルシュウム蓚酸が含まれており、食べることができるが、健康被害（腎臓障害。結石）を引き起こす可能性があります、私たちが銅製の１０円玉磨きカタバミの葉でしているのも、カルシュウム蓚酸を含んだいるからです。**名前の由来**＝大きい黄色の花を咲かせるカタバミという意味ですが、カタバミとは、この仲間は温度、照明などにより葉が閉じたり開いたりする睡眠作用をします、閉じたときの葉の状態が片方食べられたように見えるので片喰（’カタバミ）。葉はカタバミ属の特徴である３出複葉です**＊花言葉**＝決してあなたを捨てません、母の優しさ、喜び、等

サクラソウ（桜草）サクラソウ科サクラソウ属＊花期＝４～５月

名前の由来＝桜に似た花を咲かせる草。高原や山地のやや湿つた所、草原、森林の開けたと場所など、日本の各地に自生していた多年草、浅く切れ込みの入った長楕円形の葉を根本から数枚広げます、その中央から1本の花茎を出して先端に数輪の花を咲かせます、日本を代表する春を告げる花です、江戸時代に観賞用として栽培、品種改良がなされた、それは、徳川家康が無類の花好きで鷹狩に出かけた際に浮間ケ原に咲いていたサクラソウが気に入り持ち帰り観賞するようになったのがきっつかけとなり、武士の間に広がり、栽培、品種改良がなされたので多くの種類がうまれました。栽培が盛んになった反面自生のサクサソウは激減した、開発で生息地がなくなった、盗掘などでにより絶滅危惧種２類に指定されたが、最近多く栽培されるようになりランク下げられた。**＊花言葉**＝初恋、純潔、憧れ、自然の美しさを失わない。、高山植物としてハクサンコザクラ、エゾコザクラがある、栽培種は他に白、紫、多色系など多くの種類があります。

ニワトコ（接骨木・庭常）レンプクソウ科ニワトコ属＊花期＝4～5月

名前の由来＝中国のトウニワトコ（漢名、接骨木）と似ているところから、他の説として枝を黒焼きにしたものを煮出し、水アメ状にした液を骨折治療の際の湿布薬に用いたのでという説、等々ある、春先の新芽の花のつぼみのブロッコリーのようになったのを天ぷら。にすると美味。美味しいが弱い毒性があるので子供には食べさせない。成長の早い木で根本から芽を出して株たち状になる、古い幹は黒褐色で深いひび割れが入るのが特徴その樹皮にできるキクラゲは上質で美味しいとといわれる、ニワトコの木は薬用の木としての利用価値がある、枝や樹皮を入浴剤として（薬草風呂）花を黒焼きにして枝と煎じて飲む（ニワトコ茶）など、日本のみでなく世界各地で利用されている。古代エジプト迄遡ると、糖尿病の症状である多尿の治療のため新鮮なミルクにニワトコの実を混ぜたものを飲んでいたという記録が残されている。日本でも、縄文時代から薬用として使われていたと云う説があります。**＊花言葉**＝あわれみ、嫉妬深い、恩恵、苦しみを癒す人。キリスト教に使われる様な花言葉は、イエスキリストが磔の刑に使われた十字架はニワトコの木でつくられていた、しかも、それは

シモクレン（紫木蓮）モクレン科モクレン属＊花期＝3～5月

シモクレンをモクレンと言い、白色の花を咲かせるのをハクモクレンと言います、今回道中で見たピンク色の蕾のモクレンはサラサモクレン（更紗木蓮）と言いシモクレンとハクモクレンを交配させ作られたものです。この他に、モクレン科にはコブシや、山野に自生しているタムシバがあります。コブシとタムシバはいずれも白色の花で見分けずらいが、タムシバは花弁が細い葉が柳のように細いことで見分ける、モクレンの蕾は毛で覆われている防寒対策で毛の下に０度になると凍ることでマイナス温度にならないようにする液体あり蕾を保護しています、普通毛が在ると凍らない為と思われますが凍らせることにより０度以下にさせない工